



米之宮浅間神社

社報

令和4年
秋号

10月1日発行



神宮大麻全国頒布 百五十周年にあたり

夏の暑さも過ぎ去り、次第に秋らしい気候へ移ろい、実りの季節の到来を感じるようになつてきました。

さて、十月から正月にかけて、各地の神社では伊勢の神宮のお神札である、「神宮大麻」が頒布されます。明治の初年までは伊勢の御師と呼ばれる人たちが「御祓大麻」を頒布しており、江戸時代には約九割の家庭で大麻をおまつりしていましたとされます。その後、明治四年に御師制度は廃止されましたが、神宮のお神札を待ち望む声が全国で起こり、明治五年に明治天皇の思召しにより、伊勢の神宮が直接奉製する「神宮大麻」が全国に頒布されるようになりました。令和四年は、その全国頒布開始から百五十年の節目の年となります。

「神宮大麻」は伊勢の神宮の神さまで、皇室の祖先神である天照大御神さまのおちからを宿し、私たちにより大きな恵みを与えてくださります。ご参拝の皆さまにおかれましては、ぜひご家庭に日本の総氏神である伊勢の神宮のお神札と、地域の氏神である当社のお神札をおまつりいただき、ご家庭でも手を合わせて日々の感謝と平安をお祈りいただければと存じます。



七五三

「七つまでは神の子」という言葉が表すように、医療技術の乏しかった昔は、乳幼児が無事に育つかどうかは、神様にお任せするしかありませんでした。

七五三は、古くからの風習である三歳の「髪置」、五歳の「袴着」、七歳の「帯解」に由来しているといわれ、江戸時代頃より秋の稻刈り後の頃に、子供が育つことができたことを家族でお祝いしてきました。これまで見守って下さった氏神さまやご先祖さまにお参りをして感謝の気持ちを表し、これから健やかな成長をお祈りしましょう。

満年齢	数え年	年齢
平成31年・令和元年生 (2019年)	令和2年生 (2020年)	3歳 (男児・女児)
平成29年生 (2017年)	平成30年生 (2018年)	5歳 (男児)
平成27年生 (2015年)	平成28年生 (2016年)	7歳 (女児)

*数え年：生まれた年を1歳として、以降正月になると1歳加える。



神社の豆知識

祭典参列の服装について



秋から正月にかけては、七五三や初詣での御祈祷など神社の本殿に上がって祭典に参列する機会が増えることと思います。その際は、御神前で神さまに失礼のない服装と心構えで臨むことを心掛けていただけが幸いです。

秋から正月にかけては、七五三や初詣での御祈祷など神社の本殿に上がって祭典に参列する機会が増えることと思います。その際は、御神前で神さまに失礼のない服装と心構えで臨むことを心掛けていただけが幸いです。

一般の方の祭典参列における服装は、正式参拝や御祈祷を受ける場合、洋装であればネクタイ着用が原則となります。また大勢の人が参列する地鎮祭や竣工祭、多人数での参拝の代表を務める時などでは、略礼服やダークスースでの参列が望ましいでしょう。和装の場合には男性は羽織袴、女性は黒留袖や訪問着等となります。この他、職業により制服が定められているときは、この制服が正装に準ずる服装となる場合もあります。

神社では感染予防に対し様々な取り組みを行なっています。是非清々しい気持ちで神社にお参りして戴く為に、皆様におかれましても感染症対策に十分に気を付けて戴くようお願い申し上げます。



神社や神道について詳しくは
こちらのQRからご覧ください。



神社からのお願い

神社では、家内安全・身体健全・商売繁盛・初宮参り・七五三詣・学業成就・合格祈願・交通安全・旅行安全・縁結祈願・子授祈願・安産祈願・厄祓い・病気平癒・心願成就・地鎮祭・竣工祭・自動車清祓など様々なご祈願を受付けています。いつもより神さまに近い場所で、願意を届けてみてはいかがでしょうか。

ご祈願についてのお問合せは神社まで

連絡先 **米之宮浅間神社 社務所**

十四一六〇九〇六

静岡県富士市本市場五八二

八〇五四五(六二)〇八二九

四〇五四五(六二)〇八二九